

蛾類の學名覚え書き (1)

井 上 寛

ヤガ科の科名について

Linné (1758) の創設した屬 *Phalaena* の模式種は命名規約第三十條 Ib¹⁾ によつて、*typica* Linné (クロギシギシヨトウの近縁種) でなければならない (Tams: 1939, Entomologist, Vol. 27, pp. 66-77). 従つて規約第四條²⁾ 及び第五條³⁾ によつて、われわれは、ヤガの科名を *Phalaena* を語幹とする *Phalaenidae* とするのが正しいことになる。

Linné はかの有名な *Systema Naturae* の第十版でヤガから小蛾類までを *Phalaena* とゆう一屬にまとめ、更にこれを *Phalaena Bombyx*, *Phalaena Noctua*, *Phalaena Geometra*, *Phalaena Pyralis*, *Phalaena Tinea*, 及び *Phalaena Alucita* の6群に分類した。彼自身は上の *Bombyx* その他を亞屬と認めたわけではなく、單に分割の便宜上から使つたのであろうが、現在のわれわれの分類の概念からは、明かに屬或いは亞屬に相當し、規約上 *Phalaena* と同じく有効な學名であるために色々と問題が起つて來るのである。

Bombyx, *Noctua*, *Geometra* などは何れも後の學者によつて屬に昇格させられた。そこで問題となるのは Linné の命名した種のうち、どれを *Phalaena* の模式種とすることである。勿論屬や亞屬の模式種を指定する形式は、極く近年になつて確立されたものであるから、*Phalaena* 及び *Bombyx*, *Noctua* その他の模式種を選ぶには、規約第三十條のうち、どれかの項目に準據することになるので、茲にいくつかの異つた考え方が起り、そのため科名に對しても人によつて違つた學名が用いられるに至つた。何れの場合

にしる、現在の規約を適用すれば *Phalaena* の模式種がヤガであれば *Noctua* その異名となり、シャクガであれば *Geometra* が異名となる運命に置かれてゐる。

シャクガ科の大家 Prout (1910, 1912-1920) は、屬 *Phalaena* を Fabricius (1775, 1798) が改めて定義しなおしてシャクガの屬としたのを有効と見做し、*Geometra* を *Phalaena* の異名とした。そして *Phalaena* (= *Geometra*) の模式種としては、(多分規約第三十條 III 勸告 n 或いは q に従つて) *syringaria* Linné (1758) イチモジエダシャクを選んだ。このようにして Prout は *Phalaena* をシャクガの模式屬としたが、科名としては Packard (1876) のように *Phalaenidae* を用いる事を避け、一般に親しまれてゐた *Geometridae* を採用した。

ところが、アメリカの學者のうちには、*Phalaena* の模式種を *typica* Linné (1758) とし、この屬をヤガ科の模式屬と見做して、*Phalaenidae* とゆう科名を使用する人が多く、今日ではヨーロッパでもこの取扱が次第に一般化しつつあるようである。

一方英國では近年 *Agrotis* Ochsenheimer (1816) をこの科の模式屬とし *Agrotidae* を科名として採用している學者が出て來ているが、私はまだその根據について必要な文献を参照する機會を得ない。英國に於ける最も權威ある蛾の圖説 South の *The Moths of the British Isles* の 1939 年版では、既に *Agrotidae* が採用されているから、少く共この國では今後も廣く用いられるにちがいない。

最近 Franclemont (1950: Journ. N. Y. Ent. Soc. Vol. 58, pp. 41-53) は、國により學者により同じ科名が種々の異つた學名で呼ばれる不便を防止するため、Linné の *Systema Naturae* 第十版で命名された蛾類の屬名のうち *Phalaena* の下に分割された亞屬名の type をそれぞれ次のように定め更にそれより科名を導入することを國際動物命名委員會に對し提案している。

¹⁾ 若しある屬の原出版中にその中の一種に對して *typicus* 又は *typica* とゆう名が種名として附けられている場合にはその種は「原指定による模式種」と解釋される。

²⁾ 科の名は *idae* なる語尾を、又亞科の名は *inae* なる語尾をその模式屬の語幹に附して作る。

³⁾ 科又は亞科の名はその模式屬の變更した場合には變更されるべきである。

- (a) *Bombyx* L. type *mori* L.
Bombycidae (カイコガ科)
- (b) *Noctua* L. type *pronuba* L.
Noctuidae (ヤガ科)
- (c) *Geometra* L. type *papilionaria* L.
Geometridae (シャクガ科)
- (d) *Tortrix* L. type *viridana* L.
Tortricidae (ハマキガ科)
- (e) *Pyrallis* L. type *farinaria* L.
Pyrallidae (メイガ科)
- (f) *Tinea* L. type *pellionella* L.
Tineidae (コクガ科⁴⁾)
- (g) *Alucita* L. type *hexadactyla* L.
Alucitidae (ニジュウシトリバガ科)

Franclemont は属名 *Phalaena* Linné (1758) は
亜属 *Noctua* を採用することによつて破棄すること、

⁴⁾ 一色氏は日本昆蟲圖鑑の學生版 (1949) で科の和名
をヒロズコガ科と改稱している。

また上の指定により、米國で用いられている *Phalaen-*
nidae や英國で使はれている *Agrotidae* はその使用
をとりやめることが望ましいとしている。

私は Franclemont の提案が命名委員會で正式に
とりあげられるかどうか知らないし、また規約上の立
場或いは古典による考證から *Phalaena* の模式種を
syringaria (即ちシャクガに使用する) とすべきか、
それ共 *typica* (即ちヤガに用いる) に持つて行つた方
がよいのか、判定を下すだけの資料を特たないが、規
約第十三條 Ib によつて type を定めるのがこの場合
一番適切だと思われるし、その上後者の方が今後廣く
採用されそうなので、始めに書いたような見解を支持
し度いと思う。以上は整理すると次の通りになる。

Phalaenidae, ヤガ科 (=Noctuidae, Agrotidae)

……模式属 *Phalaena* Linné (=Noctua Linné)

……模式種 *typica* Linne (1758)

—— 紹 介 ——

The Butterflies of Virginia, by Austin H. Clark
and Leila F. Clark (Smithsonian Miscellaneous
Collections, Vol. 116, No. 7, pp. 193, pls. 31, Dec.
1951)

極く最近農業技術研究所に到着した本の中に本書が
あつた。未だ日本には殆んど入っていないのではない
かと思われるので紹介しておく。

本書は標題の示す如く北米ヴァージニア州の蝶につ
いての解説書で、日本の地方的ファウナを記したもの
が單なる學名の羅列に終つているのに較べ眞に美事な
ものである。而して又ファウナの記録に一つの型を示
したものと言つてよいだろう。

本書に取扱われた種類はこれ迄ヴァージニアで發見
採集されたすべての蝶11科154種(亞種を含め)で、
この全種類の非常に見事な寫眞を31枚の圖版(中1枚
は着色圖)中に332個の圖として收め、本文には冒頭
に種迄の検索表を記した他は種毎の形態の記載は一
切行わず、各種毎に州内の分布、個體變異の範圍、棲
息地の状態、發生期を述べ又州内に別亞種或は型を産

する種についてはそれらの間の差異特徴をこれ迄の記
録をいちいち引用して詳細、刻明に記してある(例
えば *Colias eurytheme* など1種類の記事に實に15
頁を割いており、又其の中の10頁は個體變異の説明に
當てられている)。特に稀種・迷蝶の如きはこれ迄に
爲された採集記録のすべてを掲げて説明するなど全く
親切丁寧に作られており、少しでもアメリカの蝶を知
る者には眞に見ていて楽しくなる本である。

* * *

Morphology of the Pupae of the Japanese
Lepidoptera (I), by Masao Okano. Ann. Rep.
Gakugei Fac. Iwate Univ., Vol. 3, Pt. 2 (1952)
p. 52-56, pls. 3

本論文には3科7種の蛾(即ち Bombycidae:
Oberthuria falcigera; Geometridae: *Agathia*
carissima, *Hipparchus dieckmanni*, *Ophithalmodes*
albastignaria, *Angerona nigrisparsa*; Phalaenidae:
Phytometra mandarina, *Cucullia fraterna*)の蛹に
ついて形態の詳細な記載がなされている。